

## 大学院の開設

1969

香川綾は科学として高度の栄養学を研究する大学院を  
念願していた。1969(昭和44)年、栄養学部の第1回卒  
業生に合わせて、私学としてわが国最初の栄養学専門の  
大学院「女子栄養大学大学院栄養学研究科栄養学専攻修  
士課程」を設置した。1989(平成元)年には栄養学専攻に  
博士後期課程を増設。1995(平成7)年に同大学院栄養学  
研究科に保健学専攻修士課程を設置、1997(平成9)年  
には保健学専攻に博士後期課程を増設した。さらに、2017  
(平成29)年から栄養学専攻に栄養教諭(専修免許状)の  
養成課程を設置した。



1992(平成4)年 大学院の授業にて 香川綾(93歳)

## 坂戸校舎への全面移転

1978

1965(昭和40)年に栄養学部栄養学科1回生を迎えたが、1・2年次の  
教養課程は坂戸校舎で、3・4年次の専門課程は駒込校舎と分離して授業  
が行われるため、様々な不便が伴った。坂戸への全面移転が望まれたが、  
当時の坂戸は交通の便が良くなかったこと、また、学生の増加に伴う校舎  
整備も当時の学園の財政状況から、少しずつ整備していく必要があった。  
ようやく、坂戸への全面移転が現実のものとなってきたのは、1978(昭和  
53)年に学園創立50周年に向けた校舎整備の5カ年計画がたてられたこ  
ろである。また、1979(昭和54)年に若葉駅が建設されたことも幸いした。  
このように大学の坂戸への全面移転は、1981(昭和56)年に完了するまで  
20年に渡る一大事業であった。



1979(昭和54)年に建設された若葉駅の  
ホームに設置された大学案内看板

## 新学科の設置と発展

1980

香川綾は、実践栄養学を大学の柱としたが、大学に相応した客観的な科学としての栄養学の樹  
立を目指していた。1974(昭和49)年に栄養学部栄養学科を、管理栄養士養成を目的とする「実  
践栄養学専攻」と、多角的な栄養学教育を目的とする「栄養科学専攻」に分離し、栄養科学専攻で  
新たに臨床検査技師の養成を開始した。

1980(昭和55)年には養護教諭の養成コースと栄養科学専攻から移した臨床検査技師養成コ  
ースを有する「保健栄養学科」を設けた。1993(平成5)年には食文化表現の専門家養成を目的とす  
る「文化栄養学科(現・食文化栄養学科)」を設置した。2003(平成15)年、栄養学科実践栄養学  
専攻を「実践栄養学科」として独立させ、従来の栄養学科栄養科学専攻と保健栄養学科を整理統合  
して新学科としての(新)保健栄養学科を設置し、その中に(新)栄養科学専攻と保健養護専攻を  
置いた。また、(新)栄養科学専攻に家庭科教諭および臨床検査技師の養成課程を設置し、保健養  
護専攻に養護教諭および保健科・看護科教諭の養成課程を設置した。さらに、2005(平成17)年  
から実践栄養学科に栄養教諭(一種免許状)の養成課程を設置した。